



2023年6月28日

各 位

会社名 日本ライフライン株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木啓介
(コード番号:7575 東証プライム市場)
問合せ先 取締役経営管理統括部長 江川毅芳
(TEL. 03-6711-5200)

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の機能の向上を図るため、2017年度より取締役会の実効性に関する分析・評価を行っております。この度、2022年度における取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

1. 評価方法の概要

当社取締役会は、取締役会の実効性を分析・評価するために、取締役に対するアンケートを実施いたしました。当該アンケートの実施にあたり、社内外の環境を勘案し評価項目について検討を行うとともに、評価における客観性を確保するため、外部の専門家にアンケート設計への助言、回収および集計・分析を依頼し実施いたしました。

- (1) 対象者 全取締役（監査等委員含む）15名（うち社外取締役6名）
- (2) 評価方法 自己評価アンケートの実施及び分析結果に基づく取締役会における審議

【自己評価アンケートの大項目】

- ① 取締役会の構成と運営
- ② 経営戦略と事業戦略
- ③ 企業倫理とリスク管理
- ④ 業績評価と経営陣の評価・報酬
- ⑤ 株主等との対話

2. 分析・評価結果の概要

自己評価アンケートの実施及び分析結果に基づく取締役会における審議の結果、評価項目全般にわたって、取締役会全体としての役割及び機能を適切に果たしており、実効性を確保しているものと分析・評価いたしました。

各評価項目に関しては、指名・報酬諮問委員会の員数および構成の評価が高くなっていることから、昨年4月に独立社外取締役1名を新たに委員として選定し、委員の過半数が独立社外取締役となった効果が表れているものと分析しております。また、昨年度の実効性評価における課題として認識された株主（機関投資家等）との建設的な対話を促進する体制構築の評価が大きく改善したことを確認いたしました。一方で、取締役会の実効性をさらに高めるためには、役員トレーニングの更なる充実（取締役就任時およびその後の継続的なトレーニング機会の提供）が引き続き課題であることを共有いたしました。

当社としては、今後も取締役会の定期的な分析・評価を実施し、実効性向上に向けた取り組みを行うことにより、中長期的な成長のための基盤の整備を推進してまいります。

以上